

多文化保育における伝統文化伝承の実践創造

台湾原住民コミュニティ幼児園に着目して

現代人間学部 こども教育学科
特任教授 **小川 圭子**

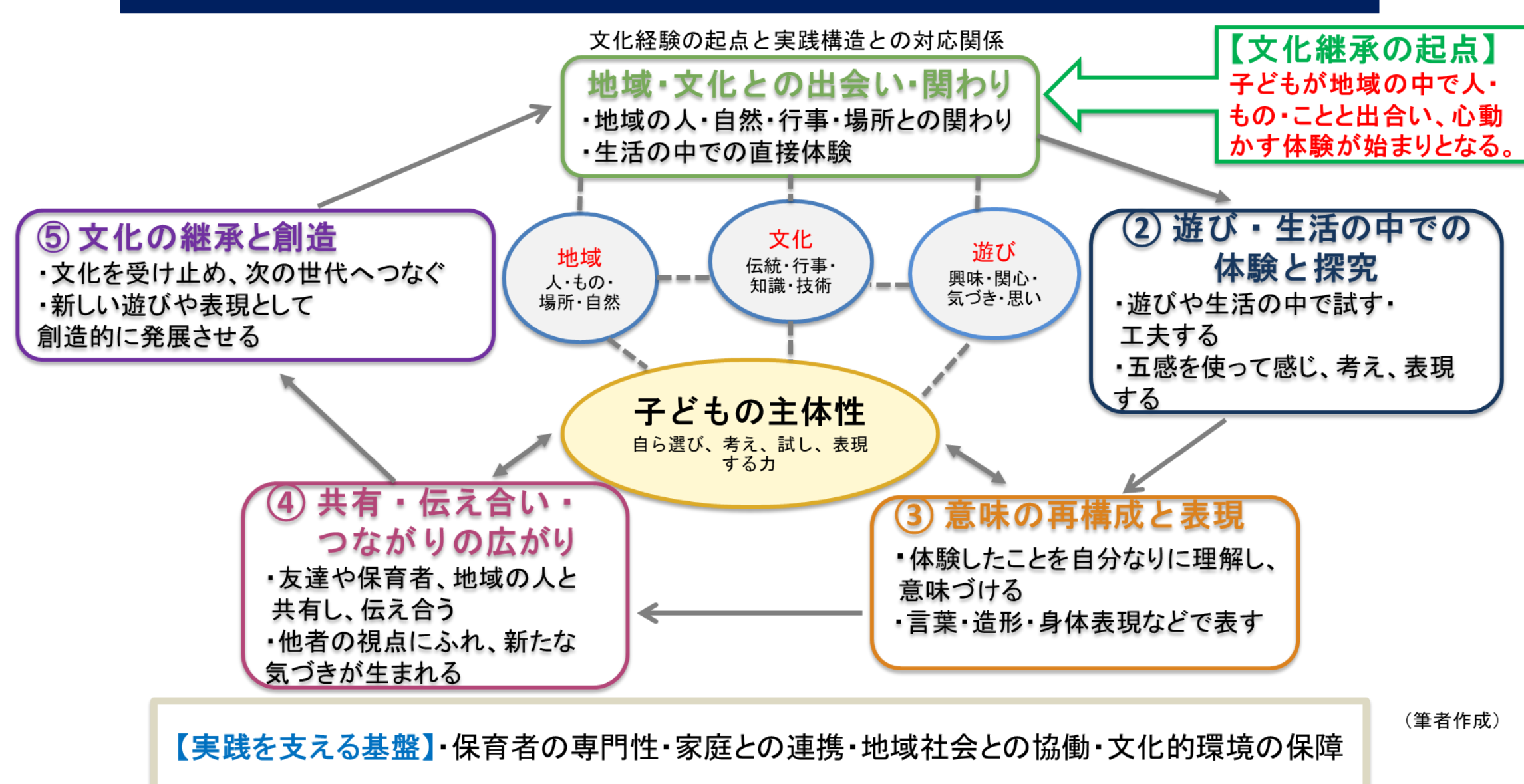
研究種目： 基盤研究(C)
研究期間： 2025年度～2027年度
研究分野： 子ども学および保育学関連

台湾では、多文化社会の中で民族固有の文化を尊重し、幼児期から遊びや生活を通して伝統文化を学ぶ保育が実践されています。特に原住民幼児園では、地域の自然や人々との関わりを基盤として、子どもが主体的に文化を継承し、新たな表現へと発展させる教育が展開されています。本研究では、日本と台湾の保育実践を比較し、地域・文化・遊びが相互に関わりながら子どもの文化経験を生成する実践構造を解明します。その成果をもとに、地域・文化・遊び・子どもの主体性が相互に循環し、文化経験を深化・発展させる「文化経験生成ループモデル」を構築するとともに、日本における伝統文化継承教育の新たな保育実践モデルを提示します。さらに、多文化共生社会における幼児教育の理論的基盤の構築と保育実践の発展に寄与することを目指します。

主な研究業績

- 1) 小川圭子(2026)兵庫教育大学大学院同窓会2026年度教育実践研究論文奨励賞を受賞(受賞論文:「台湾における幼児園の文化継承教育の実践構造—原住民文化を軸とした三園の比較を通して—」)
- 2) 小川圭子(2026)文化創造的学びから捉える台湾原住民幼児園の伝統文化教育—幼保一元化がもたらす保育者の専門性の新たな位相—,日本保育者養成教育学会第10回研究大会.
- 3) 小川圭子(2026)編著『新・保育と環境[改訂新版第2刷]』,嵯峨野書院.

文化経験生成ループモデル



京都ノートルダム女子大学
研究連携推進課

電話：075(706)3789
FAX：075(706)3793
電子メール：kenkyu@notredame.ac.jp



村の長老から、絵本を通して母語を学ぶ



原住民族の伝統文様を用いた装身具